

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成28年 6月 28日	
都道府県知事 (市長)	殿
	提出者
	住所 大分県豊後高田市森1235-1 氏名 藤本 信一 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	藤本 牧場
事業場の所在地	豊後高田市森
計画期間	平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	420 頭
③従業員数	3人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿 ① 自ら 堆肥化 ② 肥料として販売及び農地に利用 ③ 処理業者に委託して堆肥として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

事業主

堆肥処理方針の決定

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 ..	【前年度 ( 27 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	死体
	排出量	3100 t	2.0 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	死体
	排出量	3100 t	2.0 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 27 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2300 t	t
	(これまでに実施した取組)		
堆肥化			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2300 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
堆肥化			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 27 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	500 t	t
(これまでに実施した取組)			
堆肥化			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	500 t	t
(今後実施する予定の取組)			
堆肥化			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 ( 27 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 ( 27 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿 死体
	全処理委託量	300 t 2.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	300 t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) 動物のふん尿は、再生利用業者へ全て処理委託し、堆肥化している。	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	死体
	全処理委託量	300 t	2.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t
	再生利用業者への 処理委託量	300 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
(今後実施する予定の取組)			
ふん尿は再生利用業者へ委託する			
※事務処理欄			